

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲について

資金の範囲については、現金、普通預金、未収金、仮払金、未払金、前受金、仮受金、預り金を含めることにしている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	前期末残高
現金	50,000	50,000
普通預金	21,072,831	26,991,166
未収金	0	0
仮払金	429,600	0
合 計	21,552,431	27,041,166
未払金	170,891	5,000
前受金	11,501,695	12,165,628
仮受金	1,786,400	1,756,050
預り金	384,343	225,513
合 計	13,843,329	14,152,191
次期繰越収支差額	7,709,102	12,888,975

### 3. 予算額と決算額の差異が著しい科目について

計算書に記載のとおり

(差異が100万円以上の科目は会計報告時に説明)

### 4. 科目間の流用及び予備費の使用について

#### (1) 科目間の流用

大科目をまたぐような科目間の流用はありません。

#### (2) 予備費の使用

予備費予算額500,000円の使用はありません。